

平成27年度 第2回

帯広市廃棄物減量等推進審議会 議事録

(概要)

日時 平成28年1月13日(水)

午後2時～

会場 くりりんセンター2階会議室

出席委員(14名)

帯広市(9名)

畔津 委員
五十嵐 委員
一ノ渡 委員
兼子 委員
木川 委員
工藤 委員
桑波田 委員
齋藤 委員
佐藤 委員
中川 委員
仲村 委員
堀川 委員
山崎 委員
柚原 委員

安達 市民環境部長
梅村 清掃担当調整監
一森 指導担当課長
岸浪 清掃事業課長補佐
高坂 清掃事業課長補佐
西本 ごみ減量係主査
生駒 ごみ減量係主任
益子 ごみ減量係主任補
田之畑 ごみ減量係主任補

(19名中14名出席)

- ・十勝リサイクルプラザ、くりりんセンター見学
 - ・安達市民環境部長挨拶
 - ・齊藤副会長挨拶
- そのあと議事にはいる

1. 平成27年度の実施状況と今後の取り組みについて
(事務局：岸浪課長補佐) 説明

- 副会長) はい。只今事務局より27年度の取り組みの一部と28年にかけての取り組みについて説明がございました。何か説明聞いて分からない点があれば遠慮なく聞いていただきたい。質問でもよろしいです。ご意見でもよろしいです。何かございませんか。はい、どうぞ。
- 委員) 分からないことなので聞きますが、小型家電っていうのは主に16品目となっているのですがどのような品目なのでしょう。
- 事務局) はい。法律によりますと小型家電というのは電池で動いたりコンセントに繋ぐと動く家電のことをいうんですけれども、中には有用金属が多く含まれてない部分もございますので、それは限定をして集めさせていただいております。この他ですね、カーステレオ関係ですとか、ゲーム機、パソコンの周辺機器ですとかがあります。
- 事務局) 電卓ですとか、ドライバーですとか、あと時計ですとか。
- 事務局) あと電話機ですね、ラジオ、デジタルカメラ、CDレコーダーそれから、オーディオプレーヤー関係ですとか、先ほど申しましたカーナビ、それから電子書籍端末、ドライバーですとかですね。それに類似するものがございますので、沢山あるので全部は言い切れませんが、一応16品目ということに分けてございますが、それに類するものもおりますので、対象品目となるとかなりの数がございます。
- 委員) コミセン等となっておりますが、全部のコミセンには無いのですか。
- 事務局) はい。全部のコミセンとですね、それから本庁舎と、川西支所、大正支所、清掃事業課で合わせて13カ所となっております。
- 副会長) よろしいですか。量も予想以上に多いのでちょっとびっくりしましたね。やはり、利用者が多いというのは逆にまた宣伝すると集まる

可能性はあると思うんですよね。他にございませんか。はいどうぞ。

委員) 使えなくなった電池ですけど、昔は黄色い袋に入れてたと思うんですけど今もあるんでしょうか。今はどういう風に出したらいいのでしょうか。

事務局) 昔、15年・20年くらい前だと思うんですけども、黄色い袋がありました。ご存じの方も居るかと思えますけれども、今は配っていないんですよね。それで、燃やさないごみの日に、通常の透明か半透明の袋に電池を入れてもらって、燃やさないごみの日にステーションに燃やさないごみの袋と一緒に横に置いといてもらうということを出してください。

委員) それと、ペットボトルのキャップですね、前は勝毎さんの販売所とか色々なところに持って行けたんですけど、今は集めているところが無いんですよね。あれはどういうところに出したらいいのでしょうか。昔は学校でも集めていたけれど、今は集めているんですか。

事務局) 集めているところもあるんですけど、昔ほど多くはなくなってきています。今わかる範囲で申し訳ないんですけども、イオンさんが集めています。

副会長) あのキャップを外すのは大変ですからね、今日見たら大変だと思いましたね。

委員) 私、今社協でサロンのボランティアをやっているんですけど、そこで3年位前は集めて社協に出せたんですけど、今社協さんも受けとってくれませんので。

副会長) この場所についてもし分かれば、次の機会でもいいから周知していただければありがたいですね。他にございませんか。

委員) 生ごみ処理機っていうのはその、100満ボルトとかヤマダ電機とか普通の家電屋さんで買えるものなののでしょうか。

事務局) 市内の大型家電店など27店舗に、帯広市内登録販売店として登録していただきまして、その登録した品目ということで、パナソニックさんですとか、日立さんですね、あとスターエンジニアリング

さんですとかの乾燥式、またはバイオ式の電動生ごみ処理機を購入価格の二分の一まで補助します。しかし、上限が2万円ということになっております。およそ5万円程度から大きいやつでしたら8万円くらいものがあります。それです、5万円程度のものお買い求めいただくのであればですね、2万円までは助成できますので、手出しが3万円くらいで購入ができるということで助成を行っています。今年は38台ということで助成を行ってまして、先ほどの資料でも言いました26台くらいまでが今決定してまして、残り10台くらいが助成の対象でまだ残っているという状況です。

副会長) よろしいですか。他ございませんか。どのようなことでもいいですよ。

委員) 今日のこの見学、すごく有意義だったなと思っています。推進員っていう名前を頂いているので、自分が分別を一生懸命やっているつもりでしたけど、工場見学の時の臭いをかぎまして、更に色々徹底して洗ったりして出さなきゃいけないなということをつくづく感じました。

副会長) そのような感じで受け取っていただけたという事は良いことですね。他ございませんか。

委員) 生ごみ処理機についてなんですが、そのシステムというか、どういう機械なのかよく分からないんですけど、それは、生ごみを処理して、その後その生ごみはどういう風になるんでしょうか。

事務局) 電動の生ごみ処理機はですね、乾燥するタイプとそれからバイオ型というのがあるんですけど、乾燥させて、小さくして、そのまま燃やすごみとして処分しててもよろしいですし、また畑に返して堆肥化も可能です。

委員) それはその機械を使うだけで色々なものを、例えばボカシとかを足さなくてもできるんでしょうか。

事務局) はい。

副会長) あの、清掃事業課の事務所にもそういうものが展示してあります。乾燥したものは畑に入れるとか、又は燃えるごみに出すとか、そう

いうように処理していただける。しかし、もったいないので畑に皆さん入れるのではないかと思います。

委員) 電気代はかかるんですか？消費電力はどのくらいですか。
事務局) 400gを処理するのに、一回につき約17円くらいで1時間半くらいかかります。

副会長) 市のイベントの中でも、こういうものを展示する機会があります。そういう時もこういうもの置いてありますので、是非見ていただいて、やっってもら方がいいと思います。これは電動ですけど、電動でない物もあります。畑に置いて、そのまま分解させるという物もあります。あれは、いい言い方する人と悪い言い方する人と二面あるからなんとも言えませんが、ともあれ、今回資料を見て、いつも数字を見ると暗い気持ちになるんですがね、ところが帯広の状態を見ると、排出量も旭川に次いで2番目に良いんだとか、それから、リサイクル率も非常に高いとか、こういう良いことは市民に逆に流してあげることが大事かなと思うんですよ。悪い悪いではダメなんですよね。悪い悪いとだんだん暗くなるんですよ。僕もね、逆に褒めるようにしているんですよ。ごみの始末が大変良くなりましたって言ったら、大変きれいになりました。だめだばかりだと一向に改まらないんですよね。だから、最近褒めることにしたんだけど、これをもう少し頑張るためには、減らすためにはもう少し褒めて市民に注目させて、今日も取材の方がいるので、帯広は良いよっていう風に報道してくれると注目されると思うんだよね。そういう点では非常に期待は持てるかなという感じはします。皆さんには、一応こういうことやっているんだということを頭に入れていただきたいかなと思います。無ければ、その他のところに入りたいと思いますがよろしいでしょうか。

その他としてはですね、前回出された清掃の行政とかごみの減量とかリサイクルの関係、色々なものがたくさん配られていまして、それらを見てですね、何かその中からですね、ご意見なりご質問あれば承りたいなと思っております。

委員) その他ではなく、この見学会のことなんですけど。

副会長) 今日のことでですね。

委員) すごく有意義で、とても良かったと思います。それで、他のところ

でこういった見学会というものって開催されてらっしゃるんでしょうか。すごく啓発になると思うんですね。見ることによって臭いとか、やっぱり家に帰ってもうちょっときちんとしてやらなければいけないとか、そういう気持ちに必ずなると思うので、この委員会だけではなく他で何が見学会っていうか、見学ツアーみたいなこととかされているのかなと思って、ちょっとお聞きしたかったです。

事務局) はい。今現在、市民の方を招いてですね、見学ツアーっていうのは開催してございません。ごみ懇談会ですとか、こちらの方から出向いてですね、啓発推進する機会がございます、今後ですね、そういうごみ懇談会の中で、実際に見ていただいて分かって頂くっていうことは大切だと思います。

委員) 聞くよりもやはり、どんどんそういう見学会を広めてった方がよろしいような気がいたします。

事務局) 今後検討させていただきたいと思います。

委員) ありがとうございます。

副会長) 貴重な意見いただきまして、ありがとうございます。

事務局) 補足させていただきます。今日見ていただいて、ごみはごみ収集車が集めてこのようになっていくという、随分手間がかかるものなのだと思われたかと思うんですけれども。

委員) びっくりいたしました。

事務局) 機械で全部処理されると思われていたのかなと思ひまして。

委員) 作業されている方の苦勞も分かりました。

事務局) ええ、そうやって折角市民は資源として出したものなのに、話によると2割か2割5分がごみになっちゃいますよっていう話もお聞きになったかと思うんです。折角資源で出したのにごみになっている部分もあるということで、これって市民の方はあんまりわからないことかと思うんですよね。町内会ですとか、何かの団体ですとか、そういった見学の希望があれば、こちらのくりりんセンターの方でやっていますので、その辺スケジュール等あれば見学できる機会と

いうのをですね設けていただいて、我々もそういう仲を取り持ってですね、見学する機会を設けていくというようなことも考えていきたいと考えております。

委員) ありがとうございます。

事務局) 後ですね、市内の子どもたち、小学校4年だったと思うんですが、社会見学でこの周辺、こういう廃棄物の処理の施設が民間も含めてあるんですね、そういった例えば処理工場、車などを解体するのだとか。そういったものは帯広市の小学校などのお子様方は見られている、社会見学としてやっているという状況です。

事務局) 併せてですね、皆さんが見学に来られるということでもございませんので、こんな状況を見たっていう感じが分かるように写真を交えてゴミコミュニティメールですとか、そういう形でお知らせも考えていきたいと思えます。

副会長) 私たちの町内会でも子ども会で集団資源回収やるときはもっと分別は徹底します。そもそも、分別しないと業者は持っていきませんので。おそらく町内会でやっているところの分別は徹底している。スチール缶とかアルミ缶とかね、そういうのをきちっと分けてやっている。びんでもすごく気を使って分別しているんです。でも今日見たらもう、酷いですよね。あの、紙製の箱製品なんかでも、酷いですよね。僕は、たばこの空箱だと思ったらたばこが入っているって言われてね。ごみやらなんや酷い状態。でもそういうのをね、ああいう形で仕分けをしているっていうことをね、やっぱり私たちが再度認識して、何かの形ではまた反映していかなければいけないのかなという感じはしました。

貴重なお時間いただきましたけども、皆さんから他にありませんか。ご意見、質問がなければですね、それでは以上で審議会は閉じさせていただきます。ご協力いただきまして、お礼を申し上げます。ありがとうございました。